

◎ 25年度 市内大学の社会貢献に関する調査

| No. | 大学名 | 連携事業名 | 具体的な連携取組の内容 | 連携先 | 事業開始年度 |
|-----|-------|---|--|--------------------------------------|--------|
| 1 | 神奈川大学 | 地元商店街との連携 | 商店街主催のナイトフェスタへの課外活動の協力及び学園祭（神大フェスタ）への出店 | 六角橋商店街 | 平成11年 |
| 2 | 神奈川大学 | 地元商店街・学校・町内会との連携 | 学園祭（神大フェスタ）の地域密着企画への参加 | 六角橋商店街、近隣町内会、市内小学校 | 平成11年 |
| 3 | 神奈川大学 | 産学連携事業 | 横浜企業経営支援財団、市工連、市内大学等と連携し、市内の企業とのニーズとシーズのマッチングによる産学連携を実施 | 各機関の産学連携担当部署 | 平成12年 |
| 4 | 神奈川大学 | 産学連携事業 | 市内で開催される講演会への講師派遣や展示会への出展 | 各開催機関 | 平成12年 |
| 5 | 神奈川大学 | 横浜市市内大学間学術・教育交流協議会 横浜市市内大学図書館コンソーシアム | 横浜市内大学図書館コンソーシアムは、「横浜市内大学間学術・教育交流協議会」の会員校によって、学生の教育機会の多様化を図ること、相互に各図書館の特性を生かしつつ協力し、交流を深め、教育・研究活動の推進を図ることを目的として結成。原則として加盟大学の学生、教職員は加盟館の館内閲覧利用が可能。 | 横浜市内大学（14大学） | 平成12年 |
| 6 | 神奈川大学 | 高大連携事業 | 横浜市内の県立高等学校及び私立高等学校並びに市立高等学校と高大連携協定を締結し、高校の要望に応じて出張講義、学内施設（図書館・ジム）を利用したインターンシップ等の実施 | 横浜市内の県立高等学校25校及び私立高等学校3校並びに市立高等学校4校 | 平成13年 |
| 7 | 神奈川大学 | 地元小学校での演奏会 | 地元小学校より依頼を受け、管弦楽団が毎年演奏会を開催 | 市内小学校 | 平成15年 |
| 8 | 神奈川大学 | 公開講座「実践的防災まちづくり コーディネーター養成講座」の開設 | 神奈川区との連携講座「神奈川区民大学 地域・防災・まちづくり」（2005）の一般参加者を中心に、市民団体「防災塾・だるま」が組織され、2006年より当該講座を継続的に開催 | 防災塾・だるま | 平成18年 |
| 9 | 神奈川大学 | 神奈川県立図書館との連携 | 神奈川県立図書館と協定を結び、相互協力を実施 学内に所蔵していない資料で、神奈川県立図書館（横浜市区（川崎図書館を含む））が所蔵している場合は、神奈川大学図書館（平塚図書館）を経由して利用が可能 神奈川大学図書館から神奈川県立図書館への貸出しを実施 | 神奈川県立図書館（横浜市区） | 平成18年 |
| 10 | 神奈川大学 | 横浜弁護士会神奈川大学みなとみらい法律相談所設置に関する協定 | みなとみらいにある本学エクステンションセンターにおいて、本学法科大学院における理解と実務の架架橋の実現及び地域密着型法曹養成の理念に基づく教育の充実（リーガルクリニック）を図る | 横浜弁護士会 | 平成18年 |
| 11 | 神奈川大学 | 学校法人神奈川大学と株式会社りそな銀行との包括的連携協定 | 取引先企業の紹介から共同研究・受託研究の推進、インターンシップの実施、講演会等への講師派遣と連携 | りそな銀行 | 平成19年 |
| 12 | 神奈川大学 | 包括協定に基づく連携事業（地域経済の活性化と学術研究の進展で協力） | 神奈川大学生向けインターンシップの実施 | 横浜銀行 | 平成20年 |
| 13 | 神奈川大学 | 「本の架け橋プロジェクト～1冊の本にはたくさんの人たちを感動させる力がある～」 | ブックオフから提供された中古書籍をもとに、日本語を学ぶ国内外の子供たちの学習支援及び日本の子供たちとの間の国際交流の実施 | ブックオフコーポレーション株式会社 | 平成20年 |
| 14 | 神奈川大学 | NPOインターンシッププログラム | 横浜市内のNPOとの連携によるインターンシップ | アクションポート横浜 | 平成21年 |
| 15 | 神奈川大学 | 共同世論調査 | ・横浜市民のエネルギーに関する意識調査 無作為抽出（20歳～79歳）の横浜市民2,000名を対象に本学人間科学部・松本ゼミの学生協力のもと調査を実施。有効回答数782件の結果を新聞紙上で発表 | 神奈川新聞社 | 平成22年 |
| 16 | 神奈川大学 | 理学部オープンラボ | ・実験型授業を体験し最先端の機器に触れてみよう！ 神奈川新聞紙上で物理コース・化学のコース各20名程度の高校生を募集し、湘南ひらつかキャンパスにおいて実験授業およびハイテクリサーチセンター等の施設・実験機器を見学ならびに授業の様子を紙上に掲載 | 神奈川新聞社 | 平成24年 |
| 17 | 神奈川大学 | 学部授業の開設 | ・人間科学部「実践メディア論Ⅰ」（前学期2単位） 人間科学部の正課科目を3社と共同で実施。マス・メディアの情報が社会に発信されるまでの過程を実践的に学ぶとともに、メディアの役割や展望を学び、市民・社会人としてのメディアとの関わりを考える | 神奈川新聞社 テレビ神奈川 共同通信社横浜支局 | 平成24年 |
| 18 | 神奈川大学 | 地元商店街との連携 | 防犯サークル（K.C.C）による地元商店街との防犯キャンペーン活動 | 市内商店街 | 平成25年 |
| 19 | 神奈川大学 | 高大連携フォーラムへの講師派遣 | 本学高大連携協議会が主催しているフォーラムにおいて、横浜国立サイエンスフロンティア高等学校の校長先生に対し、実践発表及びパネルディスカッションへの参加依頼 | 横浜国立サイエンスフロンティア高等学校 | 平成25年 |
| 20 | 神奈川大学 | シンポジウム | ・シンポジウム「ネット選挙は社会を変えるか」 改正公職選挙法が成立したことに鑑み、国政選挙、地方選挙と市民の関係を考えることを目的とし実施ならびにシンポジウムの様子を紙上に掲載 | 神奈川新聞社 | 平成25年 |
| 21 | 神奈川大学 | 大規模地震発生時の減災応援協力 | 神奈川大学周辺地域の住民相互と神奈川大学の相互協力により、消火、救助、応急手当等を効果的に行うことで地域全体の被害の軽減を図る | 斎藤分町北部自治会、斎藤分南部町内会、 中丸町内会、六角橋南町内会 | 平成25年 |

◎ 25年度 市内大学の社会貢献に関する調査

| No. | 大学名 | 連携事業名 | 具体的な連携取組の内容 | 連携先 | 事業開始年度 |
|-----|------------|---------------------------|---|--|--------|
| 22 | 神奈川大学 | 地元幼稚園、小学校への学生の派遣 | 陸上競技部によるランニング教室 | 私立捜真幼稚園、横浜市立斉藤分小学校、横浜市立南神大寺小学校 | |
| 23 | 神奈川大学 | 中学校への指導者・学生の派遣 | 水泳部による水泳教室 | 横浜市立神奈川中学校 | |
| 24 | 神奈川大学 | 中学校への指導者・学生の派遣 | 硬式野球部による野球教室 | 横浜市立神奈川中学校 | |
| 25 | 神奈川大学 | 中学校への指導者・学生の派遣 | 陸上競技部による陸上教室 | 横浜市立神奈川中学校 | |
| 26 | 神奈川大学 | 中学校への学生の派遣 | 職場体験学習（トレーナーの仕事について）への講師派遣 | 横浜市立神奈川中学校 | |
| 27 | 神奈川大学 | 中学校への学生の派遣 | 職場体験学習（トレーナーの仕事について）への講師派遣 | 横浜市立中山中学校 | |
| 28 | 神奈川大学 | 大会運営への学生派遣 | 水泳部による横浜会場での大会運営補助 | スペシャルオリンピックス日本・神奈川 | |
| 29 | 神奈川大学 | 地元商店街との連携 | 男子サッカー部によるお祭りの運営手伝い 男子サッカー部による毎週月曜朝の中山駅周辺のゴミ拾い | 中山商店街と合同企画 | |
| 30 | 神奈川大学 | 中学生ポジション別練習会 | 男子サッカー部による横浜市内の中学生チームまたは選手を対象としたサッカー教室の開催 | 一般社団法人神奈川県サッカー協会より依頼 | |
| 31 | 神奈川大学 | 神奈川区連携事業（サッカークリニック） | 神奈川区民対象 親子サッカークリニック（with 横浜FC & 神大サッカー部） | 神奈川区連携事業 | |
| 32 | 神奈川大学 | 大会運営への学生派遣 | 男子サッカー部による大会運営補助、審判等（ビーチサッカー大会、キッズサッカー大会等） | 一般社団法人横浜サッカー協会より依頼 | |
| 33 | 神奈川大学 | 市内高校への留学生の派遣 | 留学生を市内の高等学校の特別授業に派遣 | 市内高等学校 | |
| 34 | 神奈川大学 | 横浜インターンシップ制度 | 横浜インターンシップ推進会議主催のもと、横浜商工会議所の会員企業を実習先として行うインターンシップ制度 横浜市内に本部を置く10大学の学生が対象 | 横浜商工会議所 | |
| 35 | カリタス女子短期大学 | パン販売の手伝い | 知的障害者の方の施設「愛」で生産されたパンを学内で販売する際のお手伝い。 | 施設「愛」 | 平成12年 |
| 36 | カリタス女子短期大学 | 横浜フランス月間 | 毎年6月～7月にかけて横浜市内で開催されるフランス文化の祭典に本学も参加。 | 横浜日仏学院 | 平成18年 |
| 37 | カリタス女子短期大学 | 高大連携講座 | 高校生の視野を広げ、進路に対する学習意欲を深める事を目的として、夏休みに集中講座を実施。 | 神奈川県総合学科高等学校校長会 | 平成21年 |
| 38 | カリタス女子短期大学 | スポーツデイ | 本学の行事の一つである「スポーツデイ」に、ママの健康づくりの為に活動を行う「チームWITH」の親子の方たちにも参加してもらい、本学学生・教職員と一緒にスポーツを楽しもうというもの。 | チームWITH | 平成23年 |
| 39 | カリタス女子短期大学 | 子宮頸がん予防講座 | 横浜市立大学看護学科学学生によるピアエデュケーション授業を本学学生が受講。受講学生が、新たなピアエデュケーターとして、子宮頸がん予防の輪を広げていき、発症率低下を目指すというもの。 | 横浜市立大学看護学科学科 | 平成23年 |
| 40 | カリタス女子短期大学 | FMサルースラジオ「AOBAくるるんキャンパス」 | FMサルース・ラジオ「AOBAくるるんキャンパス」に毎週交代で青葉区内6大学が出演。各学校の魅力を毎回20分間で紹介。 | FMサルース | 平成24年 |
| 41 | カリタス女子短期大学 | ボランティア活動 | キリスト教文化部を中心とする本学学生・教員が、知的障害者支援サークル（通称トウィンクル）に参加。年2回の全体会、月1回のイベント開催（ボーリング、カラオケ、スポーツ）が主な活動内容。 | 知的障害者支援サークル（トウィンクル） | |
| 42 | カリタス女子短期大学 | ボランティア活動 | 本学の設立母体であるケベック・カリタス修道女会のシスター達が関わっている障害者の地域作業所や食堂の支援。 | 寿町の地域作業所 | |
| 43 | 関東学院大学 | 横浜金沢産業連絡協議会との産学連携推進に関する協定 | 横浜市工業技術支援センターを含め定期的連絡会を開催し、地域企業のニーズを取得。同協議会が主催する「PIAメッセ」に後援、ブース出展により本学の情報を発信した。 | 横浜金沢産業連絡協議会 横浜市金沢団地協同組合 金沢中央事業会 横浜市工業技術支援センター | 平成21年 |
| 44 | 関東学院大学 | 関東学院大学カップ | 金沢区少年少女ソフトボール連盟に所属する15チームと横須賀支部39チームによる決勝大会 | 金沢区少年少女ソフトボール連盟 | 平成23年 |

◎ 25年度 市内大学の社会貢献に関する調査

| No. | 大学名 | 連携事業名 | 具体的な連携取組の内容 | 連携先 | 事業開始年度 |
|-----|----------------|---|---|---|--------|
| 45 | 関東学院大学 | 「ハンマーヘッドスタジオ：新・港区」における期間限定クリエイター活動 | 「ハンマーヘッドスタジオ新・港区」は、横浜市文化観光局の委託を受けてNPO法人BankART1929・新港ピア活用協議会の共同事業体が運営する、期間限定のシェアスタジオ型のクリエイター活動拠点である。2012年5月より2014年4月までの2年間で、公募・審査を終了50組を越す個人・チームが、巨大な空間を共有しながら創造活動を展開、そのなかのチーム「J」LABの一員として、制作、展示、ワークショップ、シンポジウムなどを行った。 | BankART1929 新港ピア事務所 | 平成23年 |
| 46 | 関東学院大学 | 金沢八景まちづくり情報発信施設「はちのぼ」の建設と管理運営事業 | 平成22年度、横浜市の事業用地を活用して、横浜市立大学及び関東学院大学の学生並びに地元市民の参加により、「学生街らしいまちづくり」を考えるワークショップを開催、その成果として情報発信施設「インフォギャラリーハッケイ」を整備した。インフォギャラリーにおいては、学生のアイデアを活かした展示やイベントが行われ、金沢八景駅周辺の賑わいの創出やまちの活性化に貢献した。平成23年10月、土地区画整理事業の工事進捗に伴い、インフォギャラリーハッケイは一旦閉鎖したが、別の市有地を活用して機能を継続させ、これを一つの拠点として、引き続き「学生街らしいまちづくり」を推進した。平成24年4月から、関東学院大学工学部建築学科の授業「ビルディングワークショップ」において、インフォギャラリーハッケイを設計・施工することとなり、作業が進められた。また、横浜市立大学金沢研究会において、場の活用方法等について検討を進め、平成24年6月、オープンした。この場所も現在は、土地区画整理事業の進展に伴い、閉鎖されているが、平成26年度からは、また新しい場所において、今後も、金沢八景地区のまちづくりに関する情報発信や学生と地域の交流の拠点として、また、さまざまなイベントの会場として活用していく予定である。 | 【はちのぼ管理運営委員会】 会長：国吉直行（横浜市立大学国際総合科学部特別契約教授） 副会長：関和明（関東学院大学工学部建築学科教授） 横浜市立大学金沢研究会、関東学院大学金沢八景まちなかプラットフォーム（KMP）、金沢八景共栄会、金沢八景まちづくり協議会・横浜市都市整備局金沢八景駅東口開発事務所 横浜市立大学金沢研究会（横浜市立大学分科研究棟502） | 平成22年 |
| 47 | 鶴見大学 | 地元商店街との連携 | 鶴見区豊岡商店街パンフレット作成 | 鶴見区豊岡商店街 | 平成24年 |
| 48 | 鶴見大学 | 平成25年度ウィリング横浜主催研修 専門力向上コース よこはま福祉・保健カレッジ 鶴見大学連携事業 | 「口から食べることをチームで支援しよう」研修内容の企画及び講師派遣 | 横浜市社会福祉協議会福祉保健研修交流センターウィリング横浜 | 平成24年 |
| 49 | 鶴見大学 | 鶴見大学杯少年野球大会 | 野球少年たちに日頃の練習の成果を発揮する機会を提供するとともに、野球を通じて親睦を深め青少年の心身の健全育成を図る。 | 横浜市鶴見区少年野球連盟 | 平成24年 |
| 50 | 鶴見大学短期大学部 | 歯の衛生週間行事 | 学生が鶴見区の歯の衛生週間行事への参加者に対して、歯科健診、フッ化物塗布の補助、ブラッシング指導等を行っている。 | 鶴見区歯科医師会 | 昭和53年 |
| 51 | 鶴見大学短期大学部 | 歯の健康フェスティバル | 学生が青葉区の歯の衛生週間行事への参加者に対して、歯科健診、フッ化物塗布の補助、ブラッシング指導等を行っている。 | 青葉区歯科医師会 | 平成9年 |
| 52 | 東京藝術大学大学院映像研究科 | 馬車道まつり「トワイライトコンサート 藝大プラス」 | 本学音楽学部の協力を得て、地元馬車道商店街の馬車道まつりの一環として例年実施している市民向けプラスバンドコンサートを開催した。 | 馬車道商店街協同組合、横浜市文化観光局、関内ホール | 平成20年 |
| 53 | 東京藝術大学大学院映像研究科 | 馬車道まつり「トワイライトコンサート 藝大プラス」 | 本学音楽学部の協力を得て、地元馬車道商店街の馬車道まつりの一環として例年実施している市民向けプラスバンドコンサートを開催した。 | 馬車道商店街協同組合、横浜市文化観光局、関内ホール | 平成20年 |
| 54 | 東京藝術大学大学院映像研究科 | 横浜wo発掘suru vol.4「山村浩二がえらぶ新世代 アニメーションのつくり手たち」 | 本学協力事業として、「横浜市民ギャラリーあざみ野 展示室1」での展示について、教員による企画、作品選定、一部上映作品の提供を行った。 | 横浜市民ギャラリー（公益財団法人横浜市芸術文化振興財団） | 平成25年 |
| 55 | 東京藝術大学大学院映像研究科 | 「横浜フランスアニメーション映画祭2013」 | 本学協力事業として、横浜シネマ・ジャック&ベティで開催された映画祭について、本学修士生を中心とした上映プログラムの監修をおこなった。 | アンスティチュ・フランセ横浜 | 平成25年 |
| 56 | 東京藝術大学大学院映像研究科 | 「Animation on Marine Tower（アニメーション・オン・マリントワー）」 | 横浜ガスライトフェスティバル2013の一環として、マリントワーの壁面に様々な手法で制作された東京藝術大学大学院映像研究科アニメーション専攻の教員・学生による短編アニメーション作品のプロジェクション上映を行った。 | ガス灯の魅力PRイベント実行委員会 | 平成25年 |
| 57 | 東京藝術大学大学院映像研究科 | 「アニメーション DONDON」 | 関内ハイカラ市の一環として、横浜メディアビジネスセンター1Fで未就学児童を含むこどもを中心に、家族で楽しめるアニメーションワークショップを実施した。 | 関内ハイカラ市実行委員会 | 平成25年 |
| 58 | 東京藝術大学大学院映像研究科 | 横浜wo発掘suru vol.4「山村浩二がえらぶ新世代 アニメーションのつくり手たち」 | 本学協力事業として、「横浜市民ギャラリーあざみ野 展示室1」での展示について、教員による企画、作品選定、一部上映作品の提供を行った。 | 横浜市民ギャラリー（公益財団法人横浜市芸術文化振興財団） | 平成25年 |
| 59 | 東京藝術大学大学院映像研究科 | 「横浜フランスアニメーション映画祭2013」 | 本学協力事業として、横浜シネマ・ジャック&ベティで開催された映画祭について、本学修士生を中心とした上映プログラムの監修をおこなった。 | アンスティチュ・フランセ横浜 | 平成25年 |
| 60 | 東京藝術大学大学院映像研究科 | 「Animation on Marine Tower（アニメーション・オン・マリントワー）」 | 横浜ガスライトフェスティバル2013の一環として、マリントワーの壁面に様々な手法で制作された東京藝術大学大学院映像研究科アニメーション専攻の教員・学生による短編アニメーション作品のプロジェクション上映を行った。 | ガス灯の魅力PRイベント実行委員会 | 平成25年 |
| 61 | フェリス学院大学 | 緑園新春コンサート | 近隣の高齢者自立支援NPOとの連携により、地域を中心とする高齢者、保育園児、近隣の障がい者通所施設、地域の音楽家、音楽愛好家の方々と学生が、協働して、毎年1月第二土曜日に、地域連携コンサートを実施している。近隣保育園の園児は年長組になると出演することになっている。 | NPO法人「だんだんの樹」 | 平成15年 |

◎ 25年度 市内大学の社会貢献に関する調査

| No. | 大学名 | 連携事業名 | 具体的な連携取組の内容 | 連携先 | 事業開始年度 |
|-----|-----------|---------------------------------------|---|---|--------|
| 62 | フェリス女学院大学 | 寿地区への生活支援物資収集送付と、現場ボランティア | 中区寿地区でのバザーに、清潔なタオル、石鹸、男物衣類、簡易カイロなど生活物資を集めて送付し、バザーボランティア体験や、炊き出し等の活動に参加。年2回の寿青年ゼミ参加学生への情報提供。寿地区での活動の経験により、地域の中での貧困や福祉の現状を学び、「他者」の存在へのきづきから、「人権」尊重の社会構築への視点を獲得している。適宜、フィールドワークガイド、説明などを受ける。 | 寿地区センター | 平成15年 |
| 63 | フェリス女学院大学 | 多文化共生フィールドワークプログラム | 学生が、特に多民族多文化共生にかかわる機関、NPOや教育現場などの活動現場や事務所、学校現場を訪問し、取り組むべき課題や事業の説明を受け、質疑応答、意見交換を行い、現状を考察するフィールドワーク。 | あーすプラザ | 平成15年 |
| 64 | フェリス女学院大学 | ハートフルフレンド | 不登校の子ども達の直接支援をするボランティア募集と助言、応募支援。 | 横浜市教育総合相談センター | 平成15年 |
| 65 | フェリス女学院大学 | 横浜インターンシップ制度 | 仲介して頂いた企業へ、学生が夏季休暇を利用してインターンシップに参加している。前後に、横浜商工会議所主催の事業説明会、報告会に参加し、商工会議所及び出席企業と意見交換し、各種報告を行っている。 | 横浜商工会議所 | 平成16年 |
| 66 | フェリス女学院大学 | 「放課後ふれあい学習サポート」 | 近隣小学校での放課後学習支援ボランティアへの学生派遣。小学校の校長や担当教員との連絡相談により実施。小学校から保護者には子どもの参加申込書が配布され、学校内で、学生チューターチームが週二回個別学習支援を行っている。 | 横浜市立緑園東小学校 | 平成16年 |
| 67 | フェリス女学院大学 | 外国籍住民日本語学習支援活動 | 近隣NPOなどの実施する外国籍住民コミュニティでの日本語学習支援ボランティアの紹介とフィールドワーク。 | NPO法人「多文化まちづくり工房」 | 平成16年 |
| 68 | フェリス女学院大学 | 知的障がい者通所施設との連携 | 学生対象に、「ひかりの園」での昼休みピアノ演奏ボランティアや夏祭りイベントでのボランティア学内募集を行い、毎年大学祭には、施設利用者の方お手製のクッキーをボランティアセンターで来室者に販売している。 | NPO法人くるみ会「ひかりの園」 | 平成16年 |
| 69 | フェリス女学院大学 | RCA年末一斉清掃 | まちの一員として、日頃利用している通学・通勤・生活路の一斉清掃に本学学生と職員が参加している。 | 緑園連合自治会・緑園都市コミュニティ協会(RCA) | 平成17年 |
| 70 | フェリス女学院大学 | 日本語の個人指導 | 正課外で、留学生が日本語の個人指導を受けている。 | NPO法人 留学生と語り合う会 | 平成17年 |
| 71 | フェリス女学院大学 | After You (お先にどうぞ)～挨拶と歩行マナーキャンペーン～ | 最寄り駅周辺は学生で混雑するため、地域のみなさんと気持ち良く行き交うことができるよう、緑園都市コミュニティ協会(RCA)の方と共に歩道に立ち、毎学期始めの毎朝一週間、通学路の交通整理を連携して取組んでいる。 | 緑園都市コミュニティ協会(RCA) | 平成18年 |
| 72 | フェリス女学院大学 | 国際機関実務体験プログラム | 横浜市国際交流協会を中心とした横浜市内の国際機関の協力により、学生が大学での学びだけでなく100時間の実務体験を通して国際的視野と資質を培う、国際的人材育成を目指す。春、夏の二期実施。両者が学生と共に成果や課題を話し合う三者面談や最終報告会の他、随時連絡しあう。 | 横浜市国際交流協会、アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター、国際連合食糧農業機関 | 平成19年 |
| 73 | フェリス女学院大学 | 女性自立支援協力 | 女性・子ども用衣料品、雑貨の送付や、関連NPOでの学生ボランティアにより、女性自立支援バザーや国際協力支援。 | NPO法人WE21ジャパン | 平成19年 |
| 74 | フェリス女学院大学 | 地域国際交流事業 | RCA国際交流トークサロンのスピーカーとして留学生を推薦。RCA主催の行事(イーエンドパーティや横浜港の花火見物など)に留学生が参加し、日本文化を体験するなど、地域住民との国際交流を図っている。 | 緑園都市コミュニティ協会(RCA) | 平成20年 |
| 75 | フェリス女学院大学 | NPOインターンシッププログラム | 横浜市内で活動する多様なNPOや社会的企業を学生が直接知り、「インターン」としての活動を通して、市民として未来の横浜や地域を支えつついく人材育成を目指す。短期50時間の集中プログラムと、長期のプログラム。大学と団体との連絡、団体から講師を招いての講習会、中期研修会、修了式まで連携しあう。 | アクションボート横浜、横浜NGO連絡会 コトラボ合同会社、アーキシップ | 平成20年 |
| 76 | フェリス女学院大学 | エコキャップ収集によるNPO支援 | 全学でペットボトルキャップを収集し、エコキャップ推進協会を通して、JGV(NPO法人世界のこどもにワクチンを 日本委員会)の働きに協力。 | NPO法人 エコキャップ推進協会(EGOCAP)、JGV(NPO法人世界のこどもにワクチンを 日本委員会) | 平成20年 |
| 77 | フェリス女学院大学 | ふれあい軽スポーツ大会 | 泉区で毎年6月に実施される障がい者ふれあい軽スポーツ大会への、学生アナウンサーとボランティア派遣協力。 | 横浜市泉区社会福祉協議会 | 平成20年 |
| 78 | フェリス女学院大学 | クラシック・ヨコハマ2013連携オーケストラ協演のタベ | 若手演奏家の育成、上質な音楽と身近に触れ合える機会を提供する、などそのコンセプトに沿うものとして横浜市の音楽祭「クラシック・ヨコハマ」と連携。学内オーディションで選ばれた学生ソリストとオーケストラとの協演による演奏 | クラシック・ヨコハマ推進委員会事務局(横浜市文化観光局文化振興課) | 平成22年 |
| 79 | フェリス女学院大学 | クラシック・ヨコハマ2013連携フェリス管弦アンサンブル第12回定期演奏会 | 若手演奏家の育成、上質な音楽と身近に触れ合える機会を提供する、などそのコンセプトに沿うものとして横浜市の音楽祭「クラシック・ヨコハマ」と連携。学生オーケストラ、学内オーディションで選ばれた学生ソリストによる演奏会。 | クラシック・ヨコハマ推進委員会事務局(横浜市文化観光局文化振興課) | 平成22年 |
| 80 | フェリス女学院大学 | クラシック・ヨコハマ2013連携第23回フェリス女学院「メサイア」演奏会 | 若手演奏家の育成、上質な音楽と身近に触れ合える機会を提供する、などそのコンセプトに沿うものとして横浜市の音楽祭「クラシック・ヨコハマ」と連携。学生たちによる合唱、ソリストに音楽学部教諭陣、オーケストラも教諭・卒業生を交えて結成された、All Ferrisによる演奏会。 | クラシック・ヨコハマ推進委員会事務局(横浜市文化観光局文化振興課) | 平成22年 |

◎ 25年度 市内大学の社会貢献に関する調査

| No. | 大学名 | 連携事業名 | 具体的な連携取組の内容 | 連携先 | 事業開始年度 |
|-----|-----------|--------------------------|---|---|--------|
| 81 | フェリス女学院大学 | 行ってみたい神奈川の観光魅力づくり企画・開発事業 | JTBコーポレートセールスが神奈川県から受託した事業において、本学国際交流学部学生と公認団体FMCの学生19名が、JTB担当者と、横浜市を巡る観光ツアーを企画し、商品化された。 | 株式会社JTBコーポレートセールス、神奈川県 | 平成23年 |
| 82 | フェリス女学院大学 | サマースクールプログラム@横浜 | JICA横浜、ナビオス横浜、横浜NGO連絡会、横浜YMCAなどの協力を得ながら、夏の4泊5日、福島県の子ども達を横浜に招く短期保養プログラムを実施し、ボランティア学生が子ども達とともに、学び遊ぶことで子ども達の健康増進を図る。 | JICA横浜、横浜NGO連絡会、ナビオス横浜、水川丸、横浜YMCA | 平成23年 |
| 83 | フェリス女学院大学 | 南方騎が原賃貸マンションプロジェクト | 女性対象の賃貸マンションの設計を、専門家の指導を受けながら女子学生の視点から行う産学連携の取組み。 | 相鉄不動産株式会社 | 平成24年 |
| 84 | フェリス女学院大学 | アシスタントティーチャープログラム | 近隣中学校の校長からの要請によるアシスタントティーチャー派遣。希望する学生を紹介し、中学校での校長面接を経て、活動内容を確定している。フィードバックを受けるなどの連携を行っている。 | 横浜市立上白根中学校 | 平成24年 |
| 85 | 八洲学園大学 | みなとみらいかもめSCHOOL | ・八洲学園大学が行う公開講座のノウハウの提供、講師の紹介・派遣を行なう ・講座運営のサポート | 八洲学園大学 総務課 | 平成25年 |
| 86 | 横浜商科大学 | 商店街振興事業 | 野毛大道芸プレイベント「野毛大道芸フォトコンテスト」の企画・運営を行う。 | 野毛商店街 | 平成19年 |
| 87 | 横浜商科大学 | 地域就業者健康増進支援 | NPO法人横浜スポーツ医学協会と共同で、協同組合横浜マーチャングライディングセンター就労者を対象に健康増進事業を実施する。 | 協同組合横浜マーチャングライディングセンター | 平成21年 |
| 88 | 横浜商科大学 | 商店街振興事業 | 「ハロウィンだよ！おおくちチビッツフェスティバル」の企画・運営を行う。 | 大口通商店街 | 平成21年 |
| 89 | 横浜商科大学 | 商大キャンパスバザール | 大学のキャンパスが私有地であることを生かし、公共スペースでは制約の多い販売方法やイベントを展開し「楽しい朝市」の実現を試行している。学生も企画・運営を共同で行い商いのスキルを学習できる場としての社会実験的朝市。 | かながわ朝市ネットワークの横浜・川崎地区 | 平成25年 |
| 90 | 横浜市立大学 | ルート16病診連携セミナー | 附属病院と地域の診療所との間で患者の紹介を円滑に行い、医療連携を促進させるための取組 | 近隣の循環器内科系診療所 | 不明 |
| 91 | 横浜市立大学 | 理研・市大合同一般公開 | 隣接する理化学研究所と市大が合同で行う1年に1度の施設の一般公開。普段は見られない研究施設や実験機器等の公開や体験型の実験、講演会などを実施。周辺地域の小中学校や公的施設への周知及び参加呼びかけ等の取組を行っている。 | ・理化学研究所 横浜事業所 ・鶴見区及び周辺区の公的施設や小中学校など | 平成13年 |
| 92 | 横浜市立大学 | 寄附講座 | 横浜銀行グループによる「銀行講座」 | 株式会社横浜銀行 | 平成18年 |
| 93 | 横浜市立大学 | 寄附講座 | 横浜信用金庫寄附講座「融資判断のための企業分析」 | 横浜信用金庫 | 平成18年 |
| 94 | 横浜市立大学 | 寄附講座 | 産業事情～ファッション・ビジネス戦略Ⅰ | 財団法人ファッション産業人材育成機構 | 平成18年 |
| 95 | 横浜市立大学 | 連携特別講座 | 特別講座（連携特別講座「新世紀の国際協力事業」） | JICA横浜 | 平成18年 |
| 96 | 横浜市立大学 | 横浜HIVカンファレンス | 神奈川県内のHIV、エイズ治療の普及を目的に各拠点病院等に対して技術支援を行う取組 | 神奈川県内のエイズ治療拠点病院等 | 平成18年 |
| 97 | 横浜市立大学 | 中学生職業体験・職業インタビュー | 中学生が病院で働く人たちの姿に触れ、職業に対する興味・関心や職業に対する理解を深める機会を提供する取組 | 横浜市内の中学校 | 平成18年 |
| 98 | 横浜市立大学 | 横浜職域メンタルヘルス支援ネットワーク研修会 | 横浜市・県内外の企業とネットワークを構築し、産業保健分野における専門職や労務担当者の資質の向上を目指して、情報共有、事例検討会、学習会を行っている（企画・運営） | 独立行政法人海洋研究開発機構、株式会社新和製作所、東芝ヒューマンアセットサービス株式会社、東洋電機製造株式会社、日本航空電子工業株式会社、日本発条株式会社、ネットワンシステムズ株式会社、富士フィルム健康管理センター、三菱日立パワーシステムズ（株）横浜工場、横浜市など | 平成19年 |
| 99 | 横浜市立大学 | 地域医療連携研修会 | 地域の医療従事者（開業又は勤務している、医師・歯科医師・薬剤師・看護師等）を対象として、当院における臨床研究成果を踏まえ、医療知識の普及を図り、また研修・研鑽の場を提供することにより、地域医療に貢献することを目的とした取組 | ・7区医師会（磯子区、金沢区、港南区、栄区、中区、西区、南区） ・南区薬剤師会 ・製薬会社等 | 平成19年 |
| 100 | 横浜市立大学 | 横浜市立大学整形外科病診連携懇話会 | 附属病院と地域の診療所との間で患者の紹介を円滑に行い、医療連携を促進させるための取組 | 近隣の整形外科診療所 | 平成20年 |
| 101 | 横浜市立大学 | つるみ臨海フェスティバル | 年1回行われる鶴見区民フェスティバルの一つ。理研・市大合同ブースにて参加。開催場所は鶴見区の入船公園。毎年多くの関係団体が参加している。 | ・理化学研究所 横浜事業所 ・鶴見区 ・実行委員会 | 平成21年 |

◎ 25年度 市内大学の社会貢献に関する調査

| No. | 大学名 | 連携事業名 | 具体的な連携取組の内容 | 連携先 | 事業開始年度 |
|-----|--------|--|--|---|--------|
| 102 | 横浜市立大学 | 理研・市大合同クリーンキャンペーン | 鶴見まちづくり推進会議が提唱し、鶴見区民・企業・行政が一体となり、「明るくきれいな鶴見区」をつくるためのクリーンアップキャンペーンで理研・市大合同で大学前から鶴見小野駅間の市道の掃除及びドングリ拾いのボランティア。ドングリは高知県土佐郡大川村のどんぐり銀行へ寄与されている。 | ・理化学研究所 横浜事業所 ・鶴見区 ・社団法人大川村ふるさとむら公社 | 平成21年 |
| 103 | 横浜市立大学 | キャンパスタウン金沢 | 横浜市立大学では、大学が2つあるという金沢区の強みを生かし、金沢区と関東学院大学と連携しながら、『大学の活力を生かしたまちづくり』に取り組んでいます。授業の中で学生が金沢区のまちづくりについて提案したり、美術部が金沢区区庁舎エントランスの空間デザインを創作するなど、さまざまな取組を行っています。 | 金沢区、関東学院大学等 | 平成21年 |
| 104 | 横浜市立大学 | エクステンション講座「漢方と疾患シリーズ」10講座 | 市民向け講座の共同開催 | 株式会社ツムラ | 平成21年 |
| 105 | 横浜市立大学 | 神奈川県HIV/AIDS医療従事者研究会 | 神奈川県内のHIV、エイズ治療の普及を目的に各拠点病院等に対して技術支援を行う取組 | 神奈川県内のエイズ治療拠点病院等 | 平成21年 |
| 106 | 横浜市立大学 | 神奈川HIVフォーラム | 神奈川県内のHIV、エイズ治療の普及を目的に各拠点病院等に対して技術支援を行う取組 | 神奈川県内のエイズ治療拠点病院等 | 平成21年 |
| 107 | 横浜市立大学 | 学生が取り組む地域貢献活動支援事業 | 地域が抱える課題を実践的に研究・解決する学生による地域貢献に資する活動を、学内公募し、優秀な企画・活動・提案・プロジェクトに対して助成金を交付するものです。 | ・初黄・日ノ出町環境浄化推進協議会 （「Kogane-Xコガネックス」） ・中区 | 平成23年 |
| 108 | 横浜市立大学 | 教員地域貢献活動支援事業 | 地域社会が抱える諸問題を地域課題として提案していただき、本学の事業予算により、本学の教員及び地域貢献センターと共同で調査、研究、社会実験等の活動を通じて課題解決を目指す事業です。 | ・（株）八千代エンジニアリング ・東京湾-金沢八景アマモ場再生会議 | 平成23年 |
| 109 | 横浜市立大学 | エクステンション講座 市民医療講座「痔瘡ケアにおける医療連携」 | 市民向け講座の共同開催 | ウィリング横浜 | 平成23年 |
| 110 | 横浜市立大学 | エクステンション講座 市民医療講座「小児・女性の炎症性腸疾患」 市民医療講座「困っていませんか？ 子どもの看病」 2講座 | 市民向け講座の共同開催 | アートフォーラムあざみ野 | 平成23年 |
| 111 | 横浜市立大学 | 寄附講座 | 財務省・財務局・財務事務局（横浜）の業務と役割 | 関東財務局 | 平成24年 |
| 112 | 横浜市立大学 | 特別講座 | 特別講座（MICE横浜オープンカレッジ） | 公益財団法人横浜観光コンベンション ビューロー | 平成24年 |
| 113 | 横浜市立大学 | YCCスクール | ヨコハマ創造都市センターを拠点とし、横浜市、公益財団法人横浜市芸術文化振興財団、横浜国立大学、横浜市立大学の4者が協働し、「創造都市・横浜」の実現をめざし、創造都市の担い手の育成や、教育活動等を行う。 | ・横浜市文化観光局 ・公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 ・横浜国立大学 | 平成24年 |
| 114 | 横浜市立大学 | 末広町プロムナード再整備 | 鶴見区末広町プロムナードの緑化整備・再整備を目的にした末広地区緑のまちづくり協議会に参加し、地域の発意による公共緑化整備等の取組 | ・理化学研究所 横浜事業所 ・鶴見区 ・トンボみちファンクラブ ・末広地区関係企業 ・環境創造局みどりアップ推進課 | 平成24年 |
| 115 | 横浜市立大学 | エクステンション講座 中学生・高校生対象講座「まちづくりのいろは講座」 | 市民向け講座の共同開催 | かながわ子どもの地域社会参画推進会議 （事務局/NPO 法人ミニシティ・プラス）、 YCC スクール | 平成24年 |
| 116 | 横浜市立大学 | エクステンション講座 「やさしい脳腫瘍のはなしー脳腫瘍克服のためにー」 | 市民向け講座の共同開催 | 日本脳腫瘍の外科学会 | 平成24年 |
| 117 | 横浜市立大学 | エクステンション講座 「『お散歩マップ』の作成と活用 ～子育ての視点で暮らしている地域を見直そう！～」 | 市民向け講座の共同開催 | NPO 法人家庭的保育全国連絡協議会 | 平成24年 |
| 118 | 横浜市立大学 | エクステンション講座 サイエンスカフェ「アレルギーになりやすい体質ってなんだろう？」 | 市民向け講座の共同開催 | 理化学研究所 | 平成24年 |
| 119 | 横浜市立大学 | エクステンション講座 「①気になる食中毒②話題のワクチン」 | 市民向け講座の共同開催 | 神奈川県感染症医学会 | 平成24年 |
| 120 | 横浜市立大学 | 高速冷凍技術の医療応用への可能性 検討調査開発委員会 | 横浜市内の企業が有し、現在主に食品業界で用いられている凍結技術が医療の分野で利用可能か、どのようにすれば利用できるのか検討する。 | 特定非営利活動法人ECML2103-3587-1333 | 平成24年 |

◎ 25年度 市内大学の社会貢献に関する調査

| No. | 大学名 | 連携事業名 | 具体的な連携取組の内容 | 連携先 | 事業開始年度 |
|-----|--------|--|--|---|--------|
| 121 | 横浜国立大学 | 市民公開講座 賢い病院のかかり方～地域医療の仕組み～ | 市民の皆様、病気にかかった際に適切な医療機関を選択して受診できるよう、知識を提供する。 | 横浜市医師会 | 平成24年 |
| 122 | 横浜国立大学 | はじめの一步教室 | 地域の小学生を対象としたスポーツ教室 (25年度はサッカー教室を開催) | ・金沢区地域振興課 ・市立金沢高校 | 平成25年 |
| 123 | 横浜国立大学 | 企画展示 「みんなで創る横浜の国際協力・多文化共生」～横浜市×JICA 国際協力の取組 | 市民の皆様展示を通して、国際協力事業を紹介し、国際協力への積極的な参画を促進・助成することを目的とした取組 | JICA横浜、よこはま国際協力・国際交流プラットフォーム運営委員会、横浜市環境創造局・国際政策室・水道局 ほか | 平成25年 |
| 124 | 横浜国立大学 | 企画展「横浜国立大学コレクション・古地図の世界～地球のかたちと万国の大地～」 | 横浜国立大学戦略的研究推進費「大学所蔵貴重資料のデジタル・アーカイブによる知的ブランドの確立」の研究成果を市民の皆様へ還元することを目的とした、大学と博物館の共同事業 | 横浜市歴史博物館 | 平成25年 |
| 125 | 横浜国立大学 | K-STEPS研修会 | 横浜市、神奈川県内の保健・福祉専門職、相談対応従事者（民間・医療機関、行政職等）から構成されるネットワークの定例研修会の支援 | K-STEPS | 平成25年 |
| 126 | 横浜国立大学 | 神奈川県看護協会実施の教育課程における講義の実施 | ・平成25年度緩和ケア認定看護師教育課程「文献検索・文献講読」 ・平成25年度認定看護管理者ファーストレベル教育課程「看護情報論」 | 神奈川県看護協会 | 平成25年 |
| 127 | 横浜国立大学 | 留学生出前授業 | 国際理解教育の一環として、中学1年生を対象にした国際交流「留学生出前授業」を実施 | 横浜市立小田中学校 | 平成25年 |
| 128 | 横浜美術大学 | 上級学校訪問受入れ | 中学生が体験・学習を通して学ぶことの意味を考えたり、人との接し方や社会的なマナーを身につける機会として実施。 平成19年より毎年受入れをしている。 | 十日市場中学校 | 平成19年 |
| 129 | 横浜美術大学 | WEフェスタへの参加協力 | 「WEフェスタもったいないを活かそう」にてリメイク作品の展示、ワークショップ実施。 | 特定非営利活動法人WE21ジャパン | 平成23年 |
| 130 | 横浜美術大学 | 環境をテーマとした産学連携 | 環境問題をテーマにしたポスター制作および作品展を開催。 | ティフ ラインランド ジャパン株式会社 | 平成24年 |
| 131 | 横浜美術大学 | 横浜スマートイルミネーション2013 | 学生グループが「夜のシャボン玉」で横浜の夜の夜景づくりに参加。 | スマートイルミネーション横浜実行委員会 | 平成24年 |
| 132 | 横浜美術大学 | 横浜美術館&横浜美術大学連携公開講座 | 社会人向けの公開講座「ネオライムストーンで彫刻制作を楽しむ」を開講（全12回） 初日は横浜美術館コレクションの彫刻作品を解説付きで鑑賞、2回目以降は本学で作品制作を行った。 | 横浜美術館 | 平成24年 |
| 133 | 横浜美術大学 | 共同研究 | 株式会社高千穂の開発した火山灰シラスを原材料とする絵画メディウムとしての製品開発に取り組んでいる。 | 株式会社高千穂 | 平成25年 |
| 134 | 横浜美術大学 | 壁画制作、展示および写真展 | 青葉台東急スクエアに「地球に愛される青葉台んもスクエア」をテーマとした学生の壁画作品を展示。同時に、「青葉台」をテーマとした写真展を開催。 | 株式会社 東急モールズデベロップメント 青葉台東急スクエア | 平成25年 |
| 135 | 横浜美術大学 | 交通安全看板デザイン | 学生による交通安全の看板をデザイン。青葉警察署前に設置。 | 青葉交通安全協会 | 平成25年 |
| 136 | 横浜美術大学 | 黄金町バザールとの連携協力 | こどもアトリエ村において黄金町バザールの若手アーティストによるワークショップを開講。大学ギャラリーにおいて、展覧会を開催。 | 黄金町バザール | 平成25年 |
| 137 | 横浜薬科大学 | 出張市民講座（糖尿病と食生活） | 市民向けの講座の開催 | フラットステーション・ドリーム | 平成20年 |
| 138 | 横浜薬科大学 | 神奈川新聞社花火大会 | 本学在学生在がボランティア活動として車椅子招待者らのお世話をした。 | 神奈川新聞社 | 平成21年 |
| 139 | 横浜薬科大学 | かながわ親子健康セミナー2013 | 子を持つ親や、教育関係者向けの講座 | 神奈川新聞社 | 平成21年 |
| 140 | 横浜薬科大学 | 「戸塚ふれあい区民まつり」「文化祭」 | 協賛 | 戸塚区民まつり実行委員会 | 平成23年 |
| 141 | 横浜薬科大学 | 子ども薬剤師体験セミナー（子どもアドベンチャー2013） | 学校では学ぶことのできない「本物に触れる」体験・学習活動の場を提供する。 | 横浜市教育委員会、横浜市薬剤師会 | 平成23年 |
| 142 | 横浜薬科大学 | 俣野公園のつどい | 俣野公園近隣の自治会・教育関係者・諸団体が目指す共助態勢の育成 | NPO法人 ドリームのは丘 | 平成23年 |

◎ 25年度 市内大学の社会貢献に関する調査

| No. | 大学名 | 連携事業名 | 具体的な連携取組の内容 | 連携先 | 事業開始年度 |
|-----|--------|---------------------|---|--|--------|
| 143 | 横浜薬科大学 | 薬物乱用防止啓発イベント | 第2回「薬物乱用防止キャンペーン」IN 横濱（7. 1～9. 30） | 薬物乱用防止キャンペーン実行委員会 （社団法人 横浜市薬剤師会、市、横浜薬科大学） | 平成24年 |
| 144 | 横浜薬科大学 | ヨコハマ大学まつり2013 | 市内28大学が一同に集まり、本物の学術をわかりやすく体験する「子ども体験教室」、「学生パフォーマンスステージ」などを行う。 | 大学・都市パートナーシップ協議会、横浜市 | 平成24年 |
| 145 | 横浜薬科大学 | 出張市民公開講座（睡眠障害と治療薬） | 市民向けの講座の開催 | 横浜市原宿ケアプラザ | 平成24年 |
| 146 | 横浜薬科大学 | 横浜夢座公演協賛 | 横浜ドリームランドを題材とする公演に協賛する。（座長五大路子） | 横浜夢座 | 平成25年 |
| 147 | 横浜薬科大学 | 横浜市薬物乱用防止啓発指導者研修会講演 | 小・中・高校の薬物乱用防止啓発に係る教職員に対する研修会講演 | 横浜市健康福祉局、教育委員会 | 平成25年 |
| 148 | 横浜薬科大学 | 出張特別研修（漢方薬の基礎・治療全般） | 医師、薬剤師、看護師に対するの漢方講座 | 横浜市市民病院がん検診センター | 平成25年 |
| 149 | 横浜薬科大学 | 出張特別講習（放射線教育） | 消防署職員に対するの放射線教育 | 横浜市消防訓練センター | 平成25年 |
| 150 | 横浜薬科大学 | 第32回横浜開港祭2013 | みんなで学ぼう実験広場～薬剤師体験プログラム～で子どもたちに薬剤師の仕事に興味を持ってもらう。 | 横浜開港祭協議会 横浜市 横浜商工会議所 | 平成25年 |
| 151 | 横浜薬科大学 | 第23回よこはま国際ちびっこ駅伝大会 | 協賛 | よこはま国際ちびっこ駅伝大会事務局 | 平成25年 |